

平成 23 年 12 月 16 日

第 1 回テクノカフェ開催のご案内

一般社団法人日本粉体工業技術協会
産学技術交流推進部門
同志社大学微粒子科学技術研究センター

第 1 回テクノカフェを開催いたします。

「テクノカフェ」は以下の趣旨により開催するものです。

粉体工業技術関連分野においては、産学技術交流の重要性は認識されているものの、大学と企業の間には、フランクに話しをする機会が十分にあるとは言えないのが現状です。日本粉体工業技術協会 産学技術交流推進部門では同志社大学微粒子科学技術研究センターと協力して、大学と企業との間、企業間の粉体関連技術者間の新しい交流の場として、また技術継承や技術人材育成の機会としても役立てていただくため「テクノカフェ」を開催することになりました。

ここでは、企業の若手技術関係者を対象として、大学側講師と企業側講師から、技術テーマを決めて話題提供講演を行っていただきます。大学側の講演では、技術に関する研究の現状や先端はどこまで行っているかなどのお話しを、企業側の講演では、その技術をどのように使っているのか、あるいはどのように生かそうとしているのかといったお話しをしていただきます。参加者の方には、それらの話題を中心に、軽食や飲み物を摂りながら自由な雰囲気でのディスカッションを通じて、技術人脈の形成、自らの技術の再確認、さらには新しい技術のヒントの発見など、今までと違った形で粉体技術へのアプローチをしていただくというものです。

今回は、「**微粒子の液相分散のかんどころ**」というテーマで、分散に関する研究の現状や応用技術などを飲み物と軽食をとりながら「カフェ」のフランクな雰囲気の中で話しや意見をかわしたいと思います。

「分散」は粉粒体の特徴的な挙動であり、粉粒体、特に微粒子、を取り扱う上で避けて通れない課題です。例えば、ナノ粒子は、造ることはできても通常の雰囲気ではナノ粒子として簡単に使用できる状態で存在し得ないともいわれています。このことは、ナノ粒子が凝集しやすいことに起因しており、ナノ粒子の分散の難しさや重要性を現わしているといえます。このような話題を大学と企業の間で、また企業間でフランクに話し合う場が今回のテクノカフェです。微粒子分散技術に興味のある方ならどなたでも参加できますので、奮って参加いただきますようご案内いたします。

— 記 —

日 時：平成 24 年 3 月 1 日（木） 16:30～19:30

場 所：京都駅八条口 新・都ホテル（TEL 075-661-7111） 地下 1 階 深草の間

テーマ：微粒子の液相分散のかんどころ

- 内 容：
- ①話題提供講演 1：分散の研究の現状
京都大学大学院 教授 宮原 稔 氏
 - ②話題提供講演 2：粒子径分布測定の前処理としての分散手法
株式会社 島津アクセス 高橋 勝夫 氏（予定）
 - ③参加者全員でのフリーディスカッション

参加費：無料

定 員：20 名（先着順、定員に達し次第〆切ります）

申込方法：添付の参加申込用紙に記入のうえ、FAX または郵送にて下記へお申込ください。

送り先・〒600-8716 京都市下京区烏丸通六条下ル北町 181 第 5 キョートビル 7 階
一般社団法人日本粉体工業技術協会 事務局 豊見 昭
FAX：075-352-8530 E-mail：toyomi@appie.or.jp

締め切り 平成 24 年 2 月 17 日(金) <期日前でも、定員に達し次第〆切ります>

プログラム

16:30～16:45	受付
16:45～16:50	開会挨拶 産学技術交流推進部門 マネジャー 竹内 和 氏
16:50～17:20	話題提供講演 1 分散の研究の現状 京都大学大学院 教授 宮原 稔 氏
17:25～17:55	話題提供講演 2 粒子径分布測定の前処理としての分散技術 株式会社 島津アクセス 高橋 勝夫 氏 (予定)
	— 休憩 (15 分) —
18:10～19:25	フリーディスカッション —< 飲み物、軽食を摂りながら >— (進行：竹内 和) コメンテーター 同志社大学 教授 日高 重助 氏
19:25～19:30	閉会挨拶 産学技術交流推進部門 副マネジャー 菅原 一博 氏

以上

一般社団法人日本粉体工業技術協会 事務局 豊見 昭 【 FAX : 075-352-8530 】

第 1 回テクノカフェ参加申込書

ご参加者氏名	
勤務先名称	
所属部署・役職	
所在地 〒 _____	
連絡先電話	連絡先 FAX
E-メール	
連絡事項	

本申込書でいただいた個人情報は、日本粉体工業技術協会個人情報取り扱い規定に従って適正に取り扱います。